

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2025 年 10 月 23 日

学部・学科名 世界教養学部 国際日本学科

担当教員氏名 早津 恵美子

1. 区分	中期留学 ・ 語学研修 ・ 海外実習
2. プログラム名称	釜山外国語大学校日本語教育実習
3. 渡航先国名	韓国（大韓民国）
4. 派遣期間	2025 年 8 月 29 日（金）～ 2025 年 9 月 14 日（日）17 日間 ※期間が予定より 1 日長くなったことについては後述）
5. 派遣先教育機関名	釜山外国語大学校
6. 参加学生数	6 名
7. 派遣目的	協定校である釜山外国語大学校日本語融合学部主催の日本語教育実習プログラムに参加
8. 派遣内容	8 月 31 日（日）オリエンテーション出席 9 月 1 日（月）～12 日（金） 教育実習（指導担当教員ほか様々なレベルの授業見学、教壇実習とその準備、指導担当教員からのフィードバック、等） 9 月 12 日（金）修了式出席
9. 成果	釜山外国語大学校主催のこの日本語教育実習プログラムには、今年度、本学を含め日本の 4 大学が参加しており、実習生の総数は 12 名である。各実習生に指導担当教員がついて個別に非常に手厚い指導をしていただけるとともに他大学の学生との協働作業もあり、それらを通して学生たちは多くのことを学んだ。
10. 備考	・当初は 9 月 13 日（土）に帰国予定だったが、搭乗予定のフライトがキャンセルになったため。種々手配した結果、14 日（日）のフライトに変更し 14 日に帰国した。 ・引率者 8 月 29 日（金）～9 月 2 日（火） 早津恵美子 9 月 10 日（水）～9 月 14 日（日） 齋藤絢

釜山外国語大学日本語教育実習に参加して

私は本実習に参加し、人として大きく成長することができたと感じています。海外に行くことも日本語を教えることも初めてだったため、実習前は不安でいっぱいでした。しかし、2週間の海外生活や異国での実習を通して、多くの学びと気づきを得ることができました。

8月に行われた事前実習では、釜山外国語大学で展開されている **Can-do** の考え方について学びました。教科書がない授業に最初は戸惑いましたが、どのように授業を進めるかを考える中で、少しずつ授業のイメージを掴めるようになりました。これまで教科書に沿った授業を受けてきたため、1から授業を組み立てることには大きな不安がありました。

その後の釜山外大の先生との打ち合わせでは、「学生にどのような授業を受けてほしいか」という学生目線を大切にしながら教案を作成しました。**Can-do** の実践的な考え方に共感する一方で、自由度の高い授業づくりの難しさも感じました。教案作成や教材づくりは初めての経験でしたが、「学生に楽しみながらも学べたという満足感を得てもらいたい」という思いを軸に取り組みました。

またチューターの学生の方と交流の機会をいただき、飲食店でご飯を食べたり、雑貨屋さんを巡ったりして釜山の街を楽しみました。韓国人の友達ができしたのは初めてだったのでとても嬉しかったし、お互いの文化を共有することで視野が広がり良い経験となりました。

全4回の教壇実習を通して、相手の立場に立って考えることの大切さ、異文化交流の楽しさを学びました。最後の授業後に学生から「授業が楽しかった」と声をかけてもらえたことは、大きなやりがいにつながりました。本実習での経験を糧に、これからも人と真摯に向き合いながら、人として成長していきたいです。